

じゅしゅう

春季彼岸会

お彼岸のお中日、三月二十日に春の彼岸会をおつとめしました。ご講師は本願寺派布教使の田淵幸三先生です。先生は音楽家でもおられます。大阪芸術大学で教授としてピアノを指導されることも、演奏活動を長年されてこられました。大学退官後は仏教に傾倒され、僧侶となられたばかりでなく、本願寺派布教使の資格も取られます。現在はそのスキルを生かし、布教活動や仏教讃歌の指導など、幅広くご活躍されておられます。

さて、この度のご議題は「十方微塵世界の、念仏の衆生をみそなわし、撰取りてすてざれば、阿弥陀となづけたてまつる」
 今日はお彼岸の法要です。から一般的な仏教としては彼岸（お浄土）に至るための修行として六波羅蜜があることを紹介してくださいました。布施・持戒・忍辱・精進・禪定・智慧の六種類の修行を行うことが悟りに至るための方法だと説かれてあります。けれど、浄土真宗の阿弥陀さまは、そのどの一つでさえ満足にできない私のことを見抜かれ、誰一人（この私を）もささず救い取るという、お念仏のはたらきを成就してくださいました。それが「撰取りて捨てない」というお心

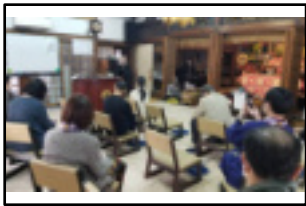
第24号
(通算364号)

発行元
 浄土真宗本願寺派
 吉富山 浄覚寺
 大阪市平野区
 長吉長原3-1-10
 06-6790-8350

です。

また、ご法話の途中には素晴らしいピアノ演奏で歌を聴かせていただきました。そのうちの一曲は、金子みすゞさんの「さびしいとき」という詩に曲を付けたものでした。

「さびしいとき」
 私がさびしいときに
 よその人は知らないの
 私がさびしいときに
 お友だちは笑うの
 私がさびしいときに
 お母さんはやさしいの
 私がさびしいときに
 仏さまはさびしいの



今月のクイズ

• 阿弥陀さまの額こはホクロと間違えてしまいうなる白髪があります。実は白く長い毛が右巻きに丸まっています。伸ばすと何メートルあるとされているでしょうか？
 ① 約 4.5cm
 ② 約 45cm
 ③ 約 4.5m
 • 正解は次号にて。

私が寂しいときに仏さまは頑張れとは言わず、寂しいねと寄り添ってくださいます。阿弥陀さまのお慈悲の心と聞かせていただきませす。この私をもらさず、必ず救い取るという撰取のはたらきと合わせて味わうことができました。



他力とは

如来より

たまわりたる

信心なり



